ともに挑む。ともに実る。
MIZUHO みずほ銀行

みずほCustomer Desk Report 2024/06/04 号(As of 2024/06/03)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
				公示仲値	157.17
TKY 9:00AM	157.20	1.0853	170.58	1.2745	0.6656
SYD-NY High	157.48	1.0904	170.85	1.2808	0.6695
SYD-NY Low	155.95	1.0828	169.73	1.2694	0.6633
NY 5:00 PM	156.04	1.0904	170.14	1.2808	0.6689

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	38,571.03	▲ 115.29	日本2年債	0.4000%	0.0000%
NASDAQ	16,828.67	93.65	日本10年債	1.0600%	▲0.0100%
S&P	5,283.40	5.89	米国2年債	4.8112%	▲0.0646%
日経平均	38,923.03	435.13	米国5年債	4.4092%	▲0.0987%
TOPIX	2,798.07	25.58	米国10年債	4.3914%	▲0.1102%
ｼｶｺﾞ日経先物	38,660.00	20.00	独10年債	2.5840%	▲0.0630%
ﾛﾝﾄﾞﾝFT	8,262.75	▲ 12.63	英10年債	4.2205%	▲0.0985%
DAX	18,608.16	110.22	豪10年債	4.3670%	▲0.0320%
ﾊﾝｾﾝ指数	18,403.04	323.43	USDJPY 1M Vol	8.53%	0.24%
上海総合	3,078.49	▲ 8.32	USDJPY 3M Vol	8.66%	▲0.01%
NY金	2,369.30	23.50	USDJPY 6M Vol	9.19%	▲0.08%
WTI	74.22	▲ 2.77	USDJPY 1M 25RR	▲1.21%	Yen Call Over
CRB指数	289.09	▲ 1.06	EURJPY 3M Vol	8.03%	▲0.03%
ドルインデックス	104.14	▲ 0.53	EURJPY 6M Vol	8.63%	▲0.06%

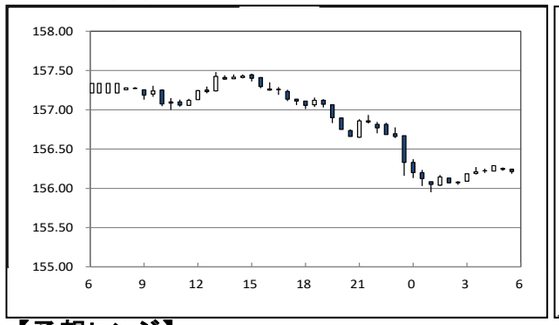
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
6月3日	10:45	中	Caixin中国製造業PMI	5月	51.7	51.6
	22:45	米	製造業PMI・確報	5月	51.3	50.9
	23:00	米	ISM製造業景況指数	5月	48.7	49.5

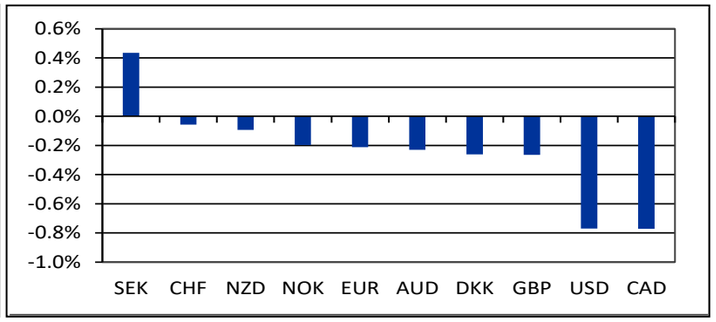
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
6月4日	23:00	米	製造業受注(前月比/除輸送)	4月	0.6%/0.5%	0.8%/0.4%
	23:00	米	耐久財受注(前月比)・確報	4月	0.7%	0.7%
	23:00	米	JOLTS求人件数	4月	8350K	8488K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	155.50-157.00	1.0880-1.0980	169.50-171.00

東京	東京時間のﾄﾞﾙ円は157.20ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。先週末からのﾄﾞﾙ安の流れもあってか序盤は下押し圧力が強く、157円ちょうど近辺まで下落。ただ株高を背景にｸﾛｽ円で持ち直すとﾄﾞﾙ円も上昇に転じ、一時157.48まで値を上げる。その後は材料難の中、157円台前半で方向感を欠き、157.27ﾚﾍﾞﾙで海外時間に渡った。
ロンドン	ﾛﾝﾄﾞﾝ市場のﾄﾞﾙ円は、157.27ﾚﾍﾞﾙでｵｰﾌﾟﾝ。午後に米指標を控える中で米長期金利が下落するのにつれて156.65まで売られる。若干戻して156.86でNYに渡った。一方で欧州株は全般に堅調だった。
ニューヨーク	週明けの海外市場のﾄﾞﾙ円は、157.48まで戻すものの、米金利が低下する中、徐々に上値を切り下げ156.86でNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は米5月製造業PMIが予想を上回ったものの、続いて発表の米5月ISM製造業景況指数が48.7と2か月連続で景気の分岐と言われる50を下回り、構成指数の新規受注が大幅に低下したことや、支払価格も低下したことからﾄﾞﾙ売りが強まり2週間ぶりに156円を割り込み、155.95まで下落する。その後は低下していた米金利が下げ止まる中、156.29まで戻すが、終盤に掛けて再び金利が低下する中、ﾄﾞﾙ円も上値を重くし156.04でｸﾛｰｽﾞした。一方、木曜にECB理事会を控え、ﾕｰﾛﾄﾞﾙは海外市場で狭いﾚﾝｼﾞでの推移が続き、1.0843でNYｵｰﾌﾟﾝ。朝方は狭いﾚﾝｼﾞでの推移が続くが、米ISM製造業景況指数結果を受けたﾄﾞﾙ売りに1.0883まで上昇する。午後も米金利が低下する中、ﾕｰﾛﾄﾞﾙはじりじりと下値を切り上げ1.0904まで戻し、本日の高値でｸﾛｰｽﾞした。

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は東京時間では157円台前半を中心とした推移となった後、欧州時間以降は下落基調。米国時間に公表されたISM製造業景況指数や建設支出が市場予想を下回る堅調な結果になると、円買いドル買いの流れが強まり、一時155円台を付ける場面が見られた。
本日のドル円は底堅い推移を予想。海外時間では久しぶりに値幅を伴って下落していただけに、輸入勢からのドル買いフローが相応に入ってくる可能性が高い。ただ、今夜以降も米国における重要経済指標の公表を控えているだけに、大きな値動きは出づらいだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようにお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:伊藤・范